



# 株式会社檜垣商店 SDGs宣言

当社は、「私たちは思いやりと感謝を忘れず、みんなに笑顔と感動を与えます。」という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2023年2月20日

株式会社檜垣商店

代表取締役 檜垣 晋司



## 重点項目(ターゲット2030)

### マチの“ほっと”ステーションとして

マチの生活インフラとしての役割を果たすとともに、忙しい一日の中で一息つける場所の提供に努めます。私たちは“みんなと暮らすマチ”の幸せを目指します。

#### 【主な取り組み】

ローソングループ間の連携、災害等発生時の自治体との連携、職場体験学習の受け入れ、地元企業との連携による商品販売、マチの意見を運営にフィードバック



### ガバナンスの強化

経営の透明性や公正性を高めるとともに、更なるガバナンス体制の強化に取り組み、ステークホルダーの皆さまから信頼される企業を目指します。

#### 【主な取り組み】

経営理念に基づいた運営、権限規定の作成、責任者の任命、法令遵守、コンプライアンス研修の実施、内部通報制度の確立



### 働きがいのある企業づくり

従業員が満足して働ける職場環境を目指します。従業員の声を大切に、一人ひとりが持つ可能性を最大限発揮できる職場整備に努めます。

#### 【主な取り組み】

就業規則へのハラスメント禁止の明記、定期的な面談、障がい者雇用を通じた自立支援への協力、クルー育成プログラムの整備、現場の声の集約



### 環境に配慮した店舗運営

環境問題を重要な経営課題と位置づけ、持続可能な社会の実現に向けてローソングループ一丸となって環境問題に取り組みます。

#### 【主な取り組み】

店舗のLED化を含めた省エネ化の推進、包装資材やレジ袋等のプラスチック使用量の削減、各種商品の値引き実施等による廃棄量の削減、本部との連携



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。